

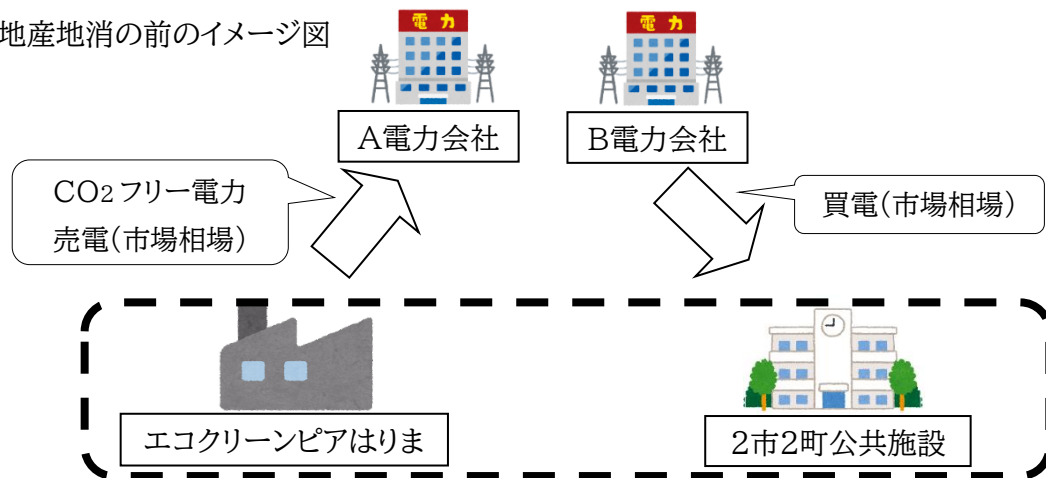
電力地産地消に係る「とうばんクリーンエネルギー(株)」による 電力直接供給の時期について

1 電力地産地消について

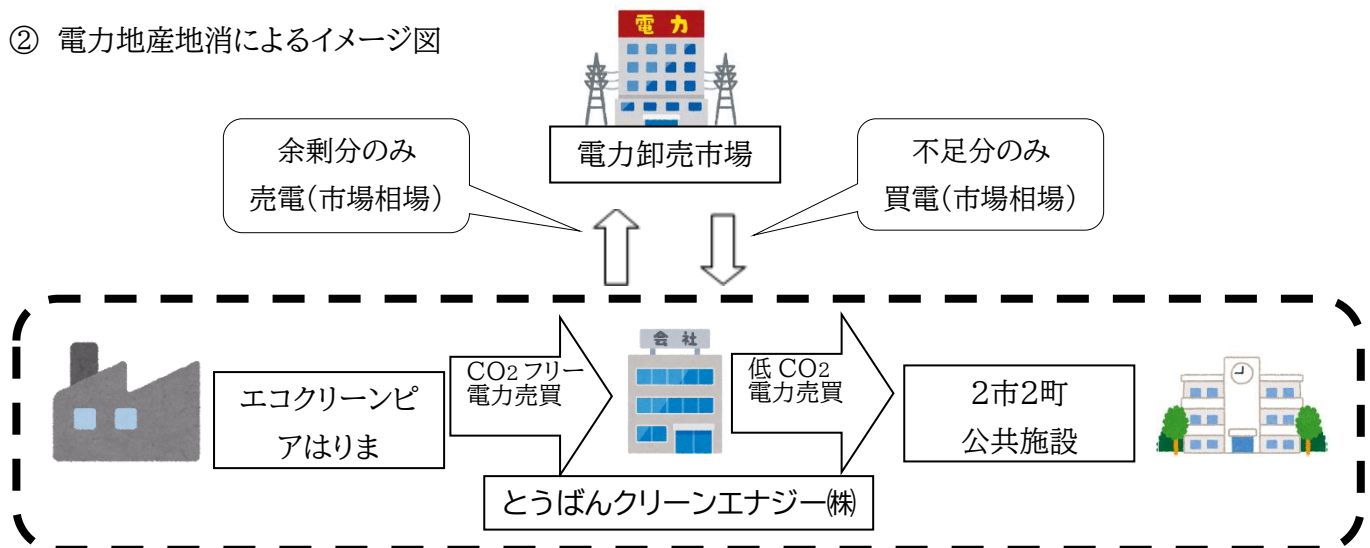
電力地産地消とは、エコクリーンピアはりま(東播臨海広域クリーンセンター)におけるごみ焼却時に発生する余剰電力のうち、非バイオマス(非FIT)電力を東播2市2町が出資する第3セクターである「とうばんクリーンエネルギー(株)」が調達し、公共施設(※)にその電力が供給されることをいいます。

※東播2市2町の(原則)負荷率 28%未満の高圧及び特別高圧受電設備を設置する公共施設が対象

① 電力地産地消の前のイメージ図



② 電力地産地消によるイメージ図



2 現在の電力供給状況について

上記公共施設は、本年4月に「とうばんクリーンエネルギー(株)」と電力需給契約をしているものの、同社は本年1月に設立され、現在は小売電気事業登録の申請手続き中であることから、同社のパートナー事業者であるパシフィックパワー(株)が電力卸売市場等から調達した電力を公共施設に供給(取次供給)している状況です。

3 今後の「とうばんクリーンエナジー㈱」による電力直接供給の予定について

現時点で、とうばんクリーンエナジー(株)の小売電気事業登録及びその後の各種電力供給手続きの終了時期は確定していませんが、高砂市(エコクリーンピアはりま)が非バイオマス(非FIT)電力の売却契約をしているミツウロコグリーンエネルギー(株)との契約期間満了日については、9月末日から11月末日に延長されており、これまでの取次供給から直接供給に切り替える時期は、早くても12月と見込んでいます。

【参考：直接供給による予定施設数】

加古川市	高砂市	稲美町	播磨町	加古郡衛生 事務組合	合 計
77 施設	40 施設	13 施設	19 施設	1 施設	150 施設

【用語説明】

用語	説明
非バイオマス (非FIT)電力	再生可能エネルギーで発電した電力を一定期間、国が定めた価格で電力会社がい取り「FIT」電力に該当しない電力のこと。 エコクリーンピアはりまでは、ごみの組成調査を行い、発電割合に応じて食品廃棄物等のバイオマス由来の電力をFIT、プラスチックごみ等の非バイオマス由来の電力を非FITに分けている。
CO ₂ フリー電力 低CO ₂ 電力	電気を作り出すエネルギーの種類や割合によって、その電気を使用した事業者は計算に基づきCO ₂ を排出したこととなる(例：一部を火力で発電している関西電力のR7年度通常メニューでは1kWh当たり0.415kgのCO ₂ を排出したこととなる)。しかし、エコクリーンピアはりまで非バイオマス由来(プラスチック等)のごみを焼却することは「プラスチック等を燃やした」という行為によってCO ₂ を排出したこととなるが、そのごみを焼却する熱で得た電力はCO ₂ の排出がゼロの「CO ₂ フリー電力」となる。 一方、電力地産地消として公共施設が「とうばんクリーンエナジー㈱」から受ける電力は、エコクリーンピアはりまからのCO ₂ フリー電力以外に、不足する電力を電力卸売市場等から調達するため「低CO ₂ 電力」となる。
負荷率	特定の期間における平均電力と最大電力の比率を示す指標のこと $\text{負荷率}(\%) = \left(\frac{\text{平均需要電力}}{\text{最大需要電力}} \right) \times 100$ 例：24 時間 365 日一定の電力を必要とする浄水場は、負荷率が高い。 夏場だけ利用するプールは、負荷率が低い。 負荷率が低い施設は基本料金の支払いが割増しになり、基本料金を低く設定する「とうばんクリーンエナジー㈱」は、比較的電気代が安価となる傾向になる。
電力卸売市場	発電事業者(売電したい事業者)と小売電気事業者(買電したい事業者)が電力を売買する市場のこと。日本ではJEPX(日本卸電力取引所)が唯一の卸電力市場である。
取次供給	小売電気事業者が仕入れた電力を取次事業者が自社の名義で電力を供給する形態のこと。 今回の場合は、パシフィックパワー㈱が仕入れた電力を、とうばんクリーンエナジー㈱の名義で公共施設に電力を供給すること。
直接供給	自らが小売電気事業者として直接電力を供給する形態のこと。 今回の場合は、電力卸売市場よりも単価の安定したエコクリーンピアはりまの電力等を、とうばんクリーンエナジー㈱が直接、公共施設に供給すること